

⑧優良種苗確保事業（一部森林環境税事業）

林木の品種改良、種子採種源の整備などを行い、優良な種苗の供給を確保するとともに、林業躍進プロジェクトの推進に向けて、低コスト再造林の実現が課題となっていることから、通年植栽が可能なコンテナ苗木や成長等が優れた第2世代精英樹（エリートツリー）などの活用、国が推進している花粉症対策品種苗木の利用拡大の促進を積極的に行います。

1 ポイント

私たちの生活を守る森林は、植え付けた苗木が立派に成長し成林するまでに、数十年を要します。

この間、保育作業をはじめ多くの人手と経費が投入され、厳しい自然環境のもとで森林は、病害虫や気象害の危険にさらされることとなります。植え替えなどのやり直しができないことから、植え付けられる苗木の優劣は健全な森林を造成する上で大きな要因となってきます。

このため、県では優良な種穂を確保するため、スギ、ヒノキ等の優良母樹の整備に努めるとともに、成長の優れた第2世代精英樹（エリートツリー）、花粉を出さない無花粉スギ、松くい虫に抵抗できるマツなど、県民のニーズに対応した品種の開発や、低コスト造林として注目されているコンテナ苗の利用促進など、新たな品種・技術等を普及し活力のある林業を目指します。

2 事業内容

事業名	事業内容
育種母樹林整備事業	県採種園（新居浜市・内子町）内の採種用母樹の育成及び着花結実を促進するためのジベレリン処理等を実施。
花粉症対策品種等育成推進事業	愛媛県の気候に対応した花粉症対策品種の開発等を実施。
苗木供給体制整備事業 （※森林環境税事業）	第2世代精英樹からなるミニチュア採種園の整備や、コンテナ苗木の生産拡大等の支援を実施。
種子採取事業 （※森林環境税事業）	林業躍進プロジェクト等に基づき増産する優良種苗確保に必要な種子を、県採種園において採取し貯蔵。



3 平成28年度実績

実施額 27,176千円（全体事業費 43,522千円）

森をつくる活動

4 全体計画

事業内容		H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	計	
計 画	育種母樹林整備事業 ジバレリン処理	300本	300本	300本	300本	300本	1,500本	
	花粉症対策品種等育成推進事業	1式	1式	1式	1式	1式	1式	
	苗木供給体制整備事業 第2世代精英樹（上段） 花粉症対策品種（下段）	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 1,000本 ヒノキ 1,000本					
				ｽｷﾞ 100本	ｽｷﾞ 300本	ｽｷﾞ 200本		ｽｷﾞ 600本
	種子採取事業	1式	1式	1式	1式	1式	1式	
	金額（千円）	37,149	60,673	54,468	54,468	54,468	261,226	
うち森林環境税(千円)	15,374	27,455	29,586	29,586	29,586	131,587		
実 績	育種母樹林整備事業 ジバレリン処理	300本	300本				600本	
	花粉症対策品種等育成推進事業	1式	1式				1式	
	苗木供給体制整備事業 第2世代精英樹（上段） 花粉症対策品種（下段）	ｽｷﾞ 200本 ヒノキ 200本	ｽｷﾞ 273本 ヒノキ 230本					ｽｷﾞ 473本 ヒノキ 430本
				ｽｷﾞ 100本				ｽｷﾞ 100本
	種子採取事業	1式	1式				1式	
	金額（千円）	28,129	43,522				71,997	
うち森林環境税(千円)	15,029	27,176				42,550		

⑨林業躍進プロジェクト推進事業（一部森林環境税事業）

第5次愛媛県総合林政計画「えひめ森林・林業振興プラン」の推進を図るとともに、プランの目標達成に向けた「林業躍進プロジェクト」に取り組みます。

1 ポイント

主伐を計画的・段階的に導入して県産材の増産を図り、県内の製材・加工業等へ安定供給することで、林業を地域の成長産業として育成する「林業躍進プロジェクト」の進行管理等を行うため、関係市町及び森林林業関係者を参集して推進会議を行います。

また、平成28年3月に策定した、第5次愛媛県総合林政計画「えひめ森林・林業振興プラン」を推進するため、課題解決のための方策の検討や施策への反映等を行うためのプロジェクトチーム検討会の開催や、森林・林業・木材産業の現状を把握するための調査を行います。

2 事業内容

事業名	事業内容
(1) 林業躍進プロジェクト推進会議の開催	各地域における推進会議の開催 (参集者：市町長、林業関係団体、森林所有者、製材・加工・流通業者等)
(2) えひめ森林・林業振興プラン実行管理事業	えひめ森林・林業振興プランプロジェクトチーム検討会の開催
(3) 森林・林業・木材産業現状調査事業	森林・林業・木材産業の現状把握調査

3 平成28年度実績

(1) 実績額 111千円（全体事業費 302千円）

(2) 実施状況



林業躍進プロジェクト推進会議

4 事業期間

平成27年度 ～ 平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回	4回	4回	—	16回
	プロジェクトチーム検討会の開催	2回	2回	2回	2回	2回	10回
	事業費	303千円	303千円	303千円	303千円	303千円	1,515千円
	うち森林環境税	111千円	111千円	111千円	111千円	111千円	555千円
実績	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回				8回
	プロジェクトチーム検討会の開催	2回	2回				4回
	事業費	190千円	302千円	千円	千円	千円	493千円
	うち森林環境税	22千円	111千円	千円	千円	千円	133千円
実施箇所		東予地方局、中予地方局、南予地方局(本局・八幡浜支局)、県庁	東予地方局、中予地方局、南予地方局(本局・八幡浜支局)、県庁	東予地方局、中予地方局、南予地方局(本局・八幡浜支局)、県庁	東予地方局、中予地方局、南予地方局(本局・八幡浜支局)、県庁	県庁	

⑩森林吸収クレジット販売促進事業

森林資源を活用した新たな環境ビジネスの構築と地球温暖化対策の推進を図るため、カーボン・オフセットの仕組みに用いられるオフセット・クレジットの普及啓発及び販売促進活動を実施します。

1 ポイント

県内では、地球温暖化対策の一つである環境省のオフセット・クレジット（J-VER）制度に基づき、約1万t-CO₂のオフセット・クレジットが発行されています。

そこで、オフセット・クレジットの販路を開拓し、クレジットの販売により得られた資金を森林整備等に還元することで、持続可能な森林経営等が行えるような仕組みづくりを推進し、新たな環境ビジネスの構築と地球温暖化対策の推進を図ります。

2 事業内容

事業名	事業内容
オフセット・クレジット（J-VER）販売促進事業	オフセット・クレジットの販売促進を図る目的で、市町やクレジットの創出者等により設立された協議会の活動に係る経費の一部を支援します。
カーボン・オフセット普及啓発事業	カーボン・オフセット制度の普及啓発を図るため、企業や一般県民を対象にしたPR活動を行います。
四国4県連携カーボン・オフセット推進事業	四国4県が連携してカーボン・オフセットの普及拡大を図るとともに、全国を視野に入れたオフセット・クレジットの活用と販路拡大策について検討します。

3 平成28年度実績

(1) 実績額 1,015千円

(2) 実施状況



エコプロ 2016



国体 J-VER 募集

4 事業期間

平成27年度～平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	普及啓発活動 (協議会による活動を含む)	5回	5回	5回	5回	5回	25回
	事業費	1,199千円	1,162千円	1,154千円	1,154千円	1,154千円	5,823千円
	うち森林環境税	1,199千円	1,162千円	1,154千円	1,154千円	1,154千円	5,823千円
実績	普及啓発活動 (協議会による活動を含む)	3回	3回				6回
	事業費	767千円	1,015千円	千円	千円	千円	1,726千円
	うち森林環境税	767千円	1,015千円	千円	千円	千円	1,726千円
実施箇所		県内	県内・愛知県・東京都	県内	県内	県内	

⑪主伐推進緊急再造林対策事業（一部森林環境税事業）

「林業躍進プロジェクト」の推進に向けて、主伐を計画的・段階的に導入することで、県産材の増産を図るとともに、森林資源の更新確保と齢級構成の平準化を目指します。

1 ポイント

主伐導入による県産材の増産に当たり、適正な再造林等による森林資源の循環利用が必要であることから、伐採跡地の荒廃を防ぐ植栽や下刈、獣害対策等に係る森林所有者負担の軽減を目的とした事業を創設し、主伐から再造林までを一貫して行う作業システムの普及や通年植栽が可能なコンテナ苗の活用などによって、低コスト化を図りながら実施するものです。

2 事業内容及び採択要件等

区 分	事 業 内 容	採 択 要 件
森林環境保全直接支援事業	スギ・ヒノキの素材生産を行った主伐跡地の再造林施策（植栽、下刈、獣害対策等）に係る森林所有者等の負担軽減を図るため、通常の造林事業補助金に加えて、実質補助率が88%となるよう支援。	国補助の造林事業の採択基準に基づくものであって、主伐による素材を県内に供給するもの。 県の継足補助に係る1所有者当たりの再造林の補助面積は、20haを上限とする。
環境林整備事業		
指導監督事務費		

事業主体 森林組合等（国補助事業において事業主体となる者）

3 平成28年度実績

(1) 実施額 44,529千円（全体事業費 238,882千円）

(2) 実施状況

（単位：ha、円）

事業体名	実施箇所	実 績				補助金額計
		森林環境保全直接支援事業		環境林整備事業		
		面積	補助金額	面積	補助金額	
宇摩森林組合	四国中央市他	10	10,177,000	30	24,073,000	34,250,000
いしづち森林組合	西条市他	7	6,521,000	25	20,061,000	26,582,000
越智今治森林組合	今治市他	2	2,236,000	7	5,350,000	7,586,000
松山流域森林組合	松山市他	6	5,589,000	17	13,375,000	18,964,000
伊予森林組合	伊予市他	2	2,236,000	7	5,350,000	7,586,000
砥部町森林組合	砥部町他	1	1,118,000	3	2,675,000	3,793,000
久万広域森林組合	久万高原町他	10	13,286,000	31	25,413,000	38,699,000
大洲市森林組合	大洲市他	6	6,383,000	17	13,602,000	19,985,000
内子町森林組合	内子町他	4	5,010,000	10	8,025,000	13,035,000
八西森林組合	八幡浜市他	1	1,118,000	3	2,675,000	3,793,000
西予市森林組合	西予市他	6	5,629,000	18	14,712,000	20,341,000
南予森林組合	宇和島市他	8	8,118,000	24	19,170,000	27,288,000
南宇和森林組合	愛南町他	3	2,608,000	8	6,242,000	8,850,000
西予市	西条市他	1	1,291,000	0	0	1,291,000
住友林業㈱	新居浜市他	2	5,741,000	0	0	5,741,000
竹本康明	西予市他	1	1,098,000	0	0	1,098,000
合 計		70	78,159,000	200	160,723,000	238,882,000



主伐推進再造林(植栽状況)

4 事業期間 平成27年度～平成28年度

5 全体計画

事業内容		H 27	H 28	計
計 画	森林環境保全直接支援事業(ha)	120	100	220
	環境林整備事業(ha)	90	200	290
	事業費(千円)	224,415	270,900	495,315
	うち森林環境税(千円)	44,602	49,808	94,410
実 績	森林環境保全直接支援事業(ha)	120	70	190
	環境林整備事業(ha)	90	200	290
	事業費(千円)	239,274	238,882	478,156
	うち森林環境税(千円)	44,602	44,529	89,131
実施箇所		四国中央市他	四国中央市他	

⑫木製ダム設置実証事業

荒廃溪流からの土砂等の流出を防止するため間伐を行うほか、モデル的に「木製ダム」を設置し、設置方法等の検討や土砂災害防止効果の検証を行います。

1 ポイント

流域を面的に保全していくうえで、中・下流域の「治山ダム」「砂防堰堤」に加え、上流域での「木製ダム」を組み合わせることが効果的と考えられます。

本事業では、上流域の公共治山事業として採択されない荒廃した溪流において、モデル的に「木製ダム」を設置するとともに、効果的な木製ダムの整備方針や基準の作成、土砂災害防止効果の検証を行います。

2 事業内容

<p>1 木製ダム設置事業 荒廃溪流からの土砂等流出の防止 ・土砂等不安定堆積物の除去、木製ダムの設置、森林整備（本数調整伐）</p>	<p>【事業主体】 県 【実施箇所数】 3箇所/年 【採択基準】 台風災害等荒廃した溪流で、公共事業として採択されないことから放置されている箇所のうち次の全てを満たすもの。 ① 下流に人家等保全対象が存すること ② 1箇所の工事費（年間計画額）が200万円以上であること ③ 現に森林が荒廃して溪流に土砂が認められる箇所で、整備対象森林面積が1.0ha以上であること</p>
<p>2 木製ダム検討プロジェクトチームの設置 木製ダムの構造や施工方法並びに普及方法の検討や効果検証を行う</p>	<p>【構成員】 農林水産部森林局職員、土木部河川港湾局職員、学識経験者等</p>

3 平成28年度実績

(1) 実施額 15,000千円

(2) 実施状況



今治市玉川町葛谷



久万高原町露峰



西予市城川町遊子谷

森をつくる活動

4 事業期間 平成27年度 ~ 平成30年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計 画	木製ダム設置数	3基	3基	3基	3基		
	森林整備面積	3ha	3ha	3ha	3ha		
	事業費	15,500千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	千円	千円
	うち森林環境税	15,500千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	千円	千円
実 績	木製ダム設置数	4基	6基				
	森林整備面積	3.9ha	4.3ha				
	事業費	14,000千円	15,000千円	千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	14,000千円	15,000千円	千円	千円	千円	千円
実施箇所		西条市(2) 松山市(1) 愛南町(1)	今治市(2) 久万高原町(2) 西予市(2)				

⑬森林認証材供給体制構築支援事業

森林認証の取得を支援し、森林認証材の供給体制の構築と「媛すぎ・媛ひのき」の更なるブランド力の向上に取り組みます。

1 ポイント

「えひめ森林・林業振興プラン」の着実な推進にあたり、県産材需要拡大を図るため、森林認証（FM 認証及び CoC 認証）の取得を支援し、森林認証材を県内で生産、供給する体制を構築することで、東京五輪関連施設整備での県産森林認証材の採用を目指すとともに、「媛すぎ・媛ひのき」の更なるブランド力向上に取り組み、新たな需要開拓を促進します。

2 事業内容

(1) FM 認証取得支援事業	○FM グループ認証取得 愛媛県林材業振興会議の FM グループ認証取得に係る経費（初回審査経費及び1年目の公示料）を支援。 ○FM グループ認証取得指導・管理 グループ団体への取得指導、認証管理等に係る経費を支援。
(2) CoC 認証取得支援事業	○CoC 認証取得 (1)と同一種類の CoC 認証取得に係る経費（初回審査経費及び1年目の公示料）を支援。

3 平成 28 年度実績

(1) 実績額 5,994 千円

(2) 実施状況



森林認証 審査状況

4 事業期間

平成 28 年度

5 全体計画

事業内容		H28	計
計画	認証森林面積	31,500.00ha	31,500.00ha
	事業費	6,000 千円	6,000 千円
	うち森林環境税	6,000 千円	6,000 千円
実績	認証森林面積	43,302.61ha	43,302.61ha
	事業費	5,994 千円	5,994 千円
	うち森林環境税	5,994 千円	5,994 千円
実施箇所		県内全域	

① 木質バイオマス利用促進事業

林地残材等の木質バイオマスの利用拡大を図るとともに、木材の新たな利用用途開発を支援し、中山間地域を支える林業の振興・木材の利用拡大を図ります。

1 ポイント

森林整備により発生し、林内に放置されている林地残材等の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマスの搬出利用経費に対する支援を行い、製紙用チップ（燃料用を除く）、木質ペレット等の原料として安定的に利用する事業を促進するとともに、今後需要が見込まれる発電利用に対する低コスト化の手法を検討します。

また、民間企業等のアイデアを活かした新たな県産材利用商品や利用方法の開発と普及を支援し、木材の多面的な利用を推進し、木材の利用拡大を図ります。

2 事業内容

(1) 木質バイオマス利用促進事業

①木質バイオマス有効活用事業

事業主体	製紙用チップ(燃料用を除く)、木質ペレット、木炭等の加工・製造者等のうち、安定的な木質バイオマス利用を行う者。 また、加工・製造業者に対し、県森林組合連合会、森林組合、林業事業体等が安定的に木質バイオマスの供給を行う場合は、林業関係者が事業主体となる。
補助対象者	森林所有者等（補助金は、事業主体を通じて森林所有者等へ買取代金とともに交付する。）
補助対象木材	間伐等（主伐を含む）を実施した森林内から搬出し、製紙用チップ(燃料用を除く)、木質ペレット、木炭等の製品原料として、安定的に利用する林地残材等の木質バイオマス
補助単価	2,000 円/m ³ 【基準単価(8,000 円/m ³)と買取単価(3,400 円/m ³)の差額 1/2 相当額】
平成 28 年度事業量	10,000m ³

②木質バイオマス生産低コスト化事業

林地残材等の木質バイオマス利用を推進するため、今後需要が見込まれる発電利用に対する低コスト化の手法等について検討を行います。

(2) 新たな県産材利用促進事業

①県産材利用用途開発事業

民間事業のアイデアを活かした新たな県産材利用商品や利用方法の開発を支援します。

②県産材利用用途普及事業

新たな県産材の利用方法等に関する説明会を実施します。

木をつかう活動

3 平成 28 年度実績

(1) 実績額 24,513千円

(2) 実施内容

① 木質バイオマス利用促進事業

林内に放置されている林地残材等の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマス搬出経費に対し支援を行った。(10,000 m³)

② 新たな県産材利用促進事業

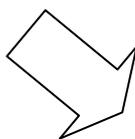
○ 民間企業等のアイデアを活かし、製材製品以外の県産材の利用商品や利用方法の開発に対し、以下のとおり支援を行った。

事業主体	実施内容	補助金額
愛媛県森林組合連合会	移動式茶室の開発	1,000 千円
(株)大一合板商事	県産材を利用したツキ板製品の開発	600 千円
四国加工(株)	県産ウッドカーペットの開発	400 千円
計		2,000 千円

4 事業イメージ



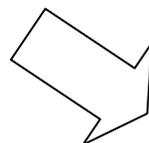
森林整備後放置された低質材



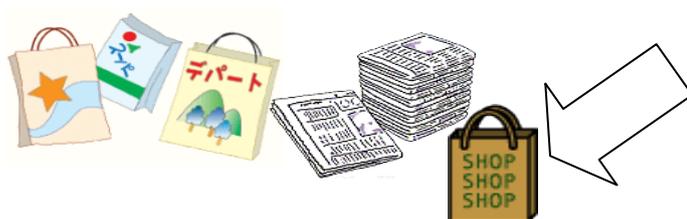
搬出・利用を促進



チップに加工



原紙



木をつかう活動

5 事業期間 平成27年度～平成31年度

6 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	林地残材等の有効利用量	10,000m ³	10,000m ³	55,000m ³	55,000m ³	55,000m ³	185,000 m ³
	他県の林地残材利用例視察件数	1件	1件	1件	1件	1件	5件
	新たな県産材利用件数	2件	2件	2件	2件	2件	10件
	事業費	23,557千円	24,985千円	41,407千円	36,407千円	31,407千円	157,763千円
	うち森林環境税	23,557千円	24,985千円	41,407千円	36,407千円	31,407千円	157,763千円
実績	林地残材等の有効利用量	10,000m ³	11,556m ³				20,000 m ³
	他県の林地残材利用例視察件数	1件	1件				
	新たな県産材利用件数	3件	3件				6
	事業費	23,321千円	24,513千円				47,834千円
	うち森林環境税	23,321千円	24,513千円				47,834千円
実施箇所		県内	県内				

② 公共施設木材利用推進事業

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木の机・椅子の導入などに対して支援を行います。

1 ポイント

地域材を利用した公共施設の整備や内装の木質化及び木の机・椅子の導入などに対して支援を行い、県民に快適な空間を提供するとともに、直接木を見て触れることにより、木材利用に対する理解を深めていきます。

2 事業内容

事業主体 公共建築物等木材利用促進法に基づく市町方針が策定済みの市町

(1) 木造公共施設整備事業

延床面積 200㎡以上の木造の公共施設の整備に対する補助。

補助率 建設単価が 200 千円/㎡を上回る場合に、200 千円と建設単価との差額の 1/2 以内を床面積当り 20 千円/㎡を上限として補助
補助金の上限 10,000 千円/施設

(2) 公共施設内装木質化事業

既設又は建築基準法等の基準で木造化不可能な新設の非木造施設の内装（床・壁等）に地域材を使用した場合の木工事費に対する補助

補助率 木工事費の 1/2 以内 補助金の上限 5,000 千円/施設

(3) 木製屋外施設整備事業

公共施設における木造屋外施設（外構施設、木製遊具、学校関連施設等）の整備に対する補助

補助率 木工事費の 1/2 以内 補助金の上限 3,000 千円/施設

(4) 小規模木造施設整備事業

延床面積 200㎡未満の小規模な木造の公共建築物の整備に対する補助

補助率 木工事費の 1/2 以内 補助金の上限 3,000 千円/施設

(5) 木の机等整備事業

幼稚園や小中学校及び児童福祉施設等における木の机・椅子等の導入に対する補助

補助率 木の机・椅子 1組の経費の 1/2 以内 補助金の上限 11 千円/組

※ (1) は地域材使用率 80%以上、(2)～(5) は地域材使用率 100%とする。

地域材とは、地域において製材・加工または流通するスギ、ヒノキ、アカマツ、クロマツとする。

3 平成 28 年度実績額

(1) 実績額 24,791 千円

(2) 実施内容

事業内容	事業主体	施設名	施設概要	木材使用量	補助金額
木造公共施設整備事業	四国中央市	新宮小中学校	木造 1507.69 ㎡	357 ㎥	10,000 千円
	内子町	大瀬小学校	木造 1729.08 ㎡	455 ㎥	10,000 千円
小規模木造施設整備事業	松山市	来往公園 四阿	木造四阿 1 基	3 ㎥	1,580 千円
	東温市	吉久集会所	木造 148.01 ㎡	37 ㎥	3,000 千円
計		4 施設		852 ㎥	24,580 千円

木をつかう活動

(3) 実施状況



内子町立大瀬小学校校舎



松山市来住公園四阿

4 事業期間 平成27年度 ～ 平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	整備する施設数	4	10	10	10	10	44
	事業費	22,268千円	24,911千円	38,788千円	38,788千円	38,788千円	163,543千円
	うち森林環境税	22,268千円	24,911千円	38,788千円	38,788千円	38,788千円	163,543千円
実績	整備する施設数	10	4				14
	木材使用量	276 m ³	852 m ³				
	事業費	20,136千円	24,791千円	千円	千円	千円	44,901千円
	うち森林環境税	20,136千円	24,791千円	千円	千円	千円	44,901千円
実施箇所	木造公共施設整備 陶街道ゆとり公園 武道場(砥部町) 木製屋外施設整備 八幡浜みなと 木製ベンチ(八幡浜市) 小規模木造施設整備 丹原小学校 屋外 便所(西条市) 鴨川公園四阿(松山市) 井口集会所(東温市) 木の机等整備事業 近永小学校 他4校(鬼北町)	木造公共施設整備 新宮小中学校(四国中央市) 大瀬小学校(内子町) 小規模木造施設整備 来住公園四阿(松山市) 吉久集会所(東温市)					

③県立学校校舎等整備事業

校舎等の耐震化の推進に重点をおき、緊急性、必要性を勘案しながら、計画的に整備し、生徒に木材の良さとぬくもりを感じてもらうことを目的としています。

1 ポイント

東南海・南海地震の発生が予測されている中、生徒の安全確保を図るため、旧耐震基準で建築された校舎等を対象に整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることによる情操教育を進めます。

3階建て以上のものはRC造としますが、内装の木質化を図ります。

2 事業内容

学校名	施設名	整備概要
		(改築)
今治西高校	武道場	SRC造2階 1, 072㎡ (予定) 一部木造
弓削高校	体育館	W造1階 745㎡ (予定)
上浮穴高校	体育館	W造1階 864㎡ (予定)
小田高校	体育館	RC造2階 1, 368㎡ (予定) 一部木造
長浜高校	特別教棟	RC造3階 1, 322㎡ (予定) 内装木質化
宇和島東高校	武道場	W造1階 294㎡ (予定)
吉田高校	特別教棟	RC造4階 1, 312㎡ (予定) 内装木質化

3 平成28年度実績

(1) 実施額 56,000千円 (平成28年度)

(全体事業費 平成28年度 2,418,562千円、平成29年度計画 4,947,743千円)

(2) 実施状況

(現在施工中)

今治西高校武道場 : 平成29年12月中旬完成予定 (債務負担)
 弓削高校体育館 : 平成30年3月下旬完成予定 (繰越)
 上浮穴高校体育館 : 平成29年6月下旬完成予定 (繰越)
 小田高校体育館 : 平成29年8月末完成予定 (繰越)
 長浜高校特別教棟 : 平成30年1月末完成予定 (債務負担)
 宇和島東高校武道場 : 平成29年5月末完成予定 (繰越)
 吉田高校特別教棟 : 平成29年8月末完成予定 (債務負担)

4 事業期間

平成27年度 ~ 平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	ふれあう人数	3,830人	5,030人	6,230人	7,430人	8,630人	31,150人
	事業費	2,509,485千円	2,418,562千円	4,947,743千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	40,000千円	56,000千円	64,000千円	千円	千円	千円
実績	ふれあう人数	3,502人	3,527人				
	事業費	1,627,842千円	986,088千円				
	うち森林環境税	40,000千円	56,000千円				
実施箇所		(校舎) しげのぶ、みなら (体育館) 今治西 (武道場) 今治北、松山工業	(校舎) 長浜、吉田 (体育館) 弓削、上浮穴、小田 (武道場) 今治西、宇和島東	(校舎) 新居浜商業、松山北、松山工業、東温、宇和島水産 (体育館) 松山商業 (武道場) 三島、川之江			

④自然公園等施設整備事業

県内の自然公園において、人と環境に優しい自然素材である木材を使用して、標識、木柵、ベンチ、階段など、公園利用施設を整備します。

1 ポイント

自然公園（瀬戸内海国立公園、四国カルスト県立自然公園）等において、県内産木材を使用した公園利用施設を整備することにより、利用者の安全性・利便性の向上を図るとともに、自然とのふれあいの場を通じて、ゆとりと潤いのある県民生活の実現を目指し、自然環境の保全に対する理解と関心を深めます。

2 事業内容

自然公園等において、間伐材を用いた門標等の施設を整備する。

○事業主体 県（自然保護課）

公園名	箇所名	市町名	整備内容
瀬戸内海国立公園	金山出石寺、青島	大洲市	公園名標識
四国カルスト県立自然公園	獅子越峠、小田深山溪谷	内子町	公園名標識

3 平成 29 年度予算額

4,600 千円（見込み）（全体事業費 7,362 千円）

4 事業期間

平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	木材使用量	5 m3	5 m3	5 m3	5 m3	5 m3	25m3
	ふれあう人数	5,375千人/年	5,375千人/年	5,375千人/年	5,375千人/年	5,375千人/年	5,375千人/年
	事業費	5,079千円	5,600千円	5,600千円	5,600千円	5,600千円	27,479千円
	うち森林環境税	4,571 千円	4,600 千円	4,600 千円	4,600 千円	4,600 千円	22,971 千円
実績	木材使用量	6 m3	5 m3				
	ふれあう人数	5,427 千人	調査中				
	事業費	5,068 千円	7,362千円				
	うち森林環境税	4,560千円	4,600千円				
箇所名	足摺宇和海国立公園 石鎚国立公園 四国のみち	足摺宇和海国立公園 県立自然公園	瀬戸内海国立公園 足摺宇和海国立公園 県立自然公園	瀬戸内海国立公園 四国のみち	瀬戸内海国立公園 県立自然公園 四国のみち		

⑤木の香る公園施設整備事業

利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備を進めていきます。

1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所やベンチなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供するものです。

※県管理の都市公園

県営総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

2 事業内容

○ 事業箇所 県営総合運動公園
(松山市上野町他)

○ 施設概要 木製東屋 1式

○ 整備効果 県営総合運動公園は、平成 29 年に開催されるえひめ国体において総合開閉会式及び4競技が行われることから、多くの利用が見込まれるため、園内に木製の東屋を整備することにより、憩いの安らぎの空間が創造され、利用者へのサービス向上、公園のイメージアップとなる。

さまざまな人々が集い、ふれあいの場となる都市公園に間伐材を利用した施設を設置することは、木材に対する理解や関心を深めることになる。

3 平成 28 年度実績

(1) 実施額 5,000 千円

(2) 実施内容

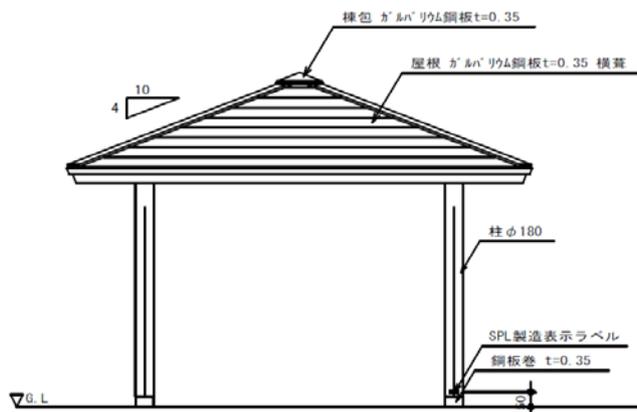
公園名・地区名	事業主体	事業内容	事業費	備考
県営総合運動公園	愛媛県	木製東屋1式	5,000 千円	
計			5,000 千円	

木をつかう活動

(3) 実施状況



施行箇所（施行前）



完成



完成

4 事業期間 平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	ふれあう人数	55,000人	55,000人	55,000人	99,000人	99,000人	363,000人
	事業費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	3,000千円	5,000千円	23,000千円
	うち森林環境税	5,000千円	5,000千円	5,000千円	3,000千円	5,000千円	23,000千円
実績	ふれあう人数	67,300人	69,100人	人	人	人	人
	事業費	5,000千円	5,000千円	千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	5,000千円	5,000千円	千円	千円	千円	千円
実施箇所	県営総合運動公園 (園路) 木製公園施設1式 (東屋2棟)	県営総合運動公園 (キャンプ場) 木製公園施設1式 (東屋1棟、テーブル 等1式)	県営総合運動公園 (テニスコート) 木製公園施設1式 (東屋2棟)	とべ動物園 (入口ゲート付近) 木製公園施設1式 (東屋2棟)	県営総合運動公園 (園路) 木製公園施設1式 (東屋2棟)		

⑥ えひめ材住宅普及啓発事業

県産材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や県産材製品を利用する住宅等の新築及びリフォームを支援するとともに、新たな構造材の開発・普及を進めます。

1 ポイント

木材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や良質な県産材製品を利用する住宅等の新築及びリフォームを支援するとともに、県産材製品を利用する住宅等の新築やリフォームを支援し、住宅等における県産材の需要拡大を図り、木材利用による持続的な森林整備を推進します。

2 事業内容

(1) 木と暮らしの相談窓口開設支援事業

木造住宅や木材利用全般に関する相談窓口を開設し、県産材や木造住宅の良さを普及啓発する活動を支援します。

- ①相談窓口の設置（常設） ②研修会等の開催（設計・施工者向け） ③出前木材利用相談窓口
- ④見学会の開催（消費者向け） ⑤住宅関係の情報発信（イベント出展、HP等） ⑥木をつかう教育等の促進

(2) えひめ材の家づくり促進支援事業

住宅を建設する施主に対して、県産柱材を無償提供します。

○提供柱材 1棟当たり80本以内（184千円/棟）、支援棟数300棟

(3) 住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援します。

○支援内容 住宅等1件当たり100,000円（下限）～140,000円（上限）、支援棟数100棟

3 平成28年度実績

(1) 実績額 79,240千円

(2) 実施内容

○木と暮らしの相談窓口の開設

相談受付時間 9:00～17:00（休館日：日、祝日）

木造住宅に関する専門相談

○えひめ材の家づくり促進支援事業

木造住宅を建設する施主に対して、県産柱材80本を無償提供（336棟）

○住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援（73棟）

木をつかう活動

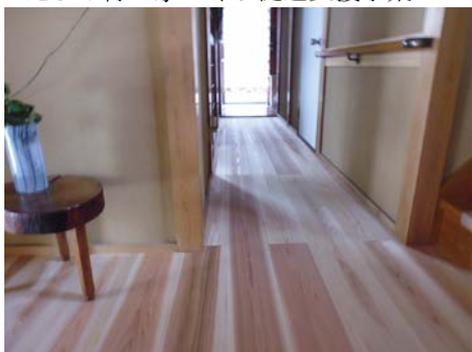
(3) 実施状況



えひめ材の家づくり促進支援事業



えひめ材の家づくり促進支援事業



住宅等リフォーム木材利用促進事業



住宅等リフォーム木材利用促進事業

4 事業期間

平成27年度～平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	相談窓口相談件数	600	600	600	600	600	3,000
	柱材提供件数	300	300	300	300	300	1,500
	住宅等リフォーム木材利用件数	100	100	100	100	100	500
	事業費	76,511千円	79,271千円	68,150千円	68,150千円	68,150千円	360,232千円
	うち森林環境税	76,511千円	79,271千円	68,150千円	68,150千円	68,150千円	360,232千円
実績	相談窓口相談件数	582	688				1270
	柱材提供件数	337	336				673
	住宅等リフォーム木材利用件数	50	73				123
	事業費	76,459千円	79,240千円	千円	千円	千円	155,630千円
	うち森林環境税	76,459千円	79,240千円	千円	千円	千円	155,630千円
実施箇所	県内	県内					

⑦原木乾しいたけ等生産促進事業

県産原木乾しいたけの消費拡大と認知度向上を図るため、普及啓発や販路拡大に取り組むとともに、生産量確保と品質向上を図るため、生産基盤の強化と生産者の育成を行い、県産原木乾しいたけの生産振興による山村地域の活性化と広葉樹林の整備・資源の有効活用を促進します。

1 ポイント

トレーサビリティを活用した安全・安心な「愛媛県産」原木乾しいたけの普及啓発や販路開拓を行い、消費拡大と認知度向上に取り組みます。

また、生産基盤の強化と生産者の育成を図るため、原木の導入経費や、生産・加工施設の整備に要する経費、生産技術等に関する講習会の開催経費に対し支援を行います。

2 事業内容

(1) 原木乾しいたけ消費拡大等支援事業	○原木乾しいたけ消費拡大等支援事業 普及啓発、料理コンテストの開催などの活動に対する支援。 ○乾しいたけ消費拡大プロモーション事業 県内での需要を拡大するためのプロモーション。
(2) 原木しいたけ生産者育成対策事業	・生産技術等に関する講習会（1回開催） ・生産技術等に関する研修会（3回開催）
(3) 原木しいたけ等生産基盤強化事業	○原木生産拡大支援事業 新植ほだ木を1,000本以上新規生産又は拡大生産する生産者に対する支援。 ・新植ほだ木10本当たり500円以内 ○原木しいたけ等生産・加工施設整備支援事業 原木生産拡大支援事業の助成を受ける生産者、過去3年間のほだ木更新の平均本数が2,000本/年以上である生産者又は森林組合（生産者が共同利用できる施設に限る。）が原木乾しいたけ等の施設整備を行う場合に要する経費の支援。 ・生産・加工施設整備に係る経費の1/3以内 （補助金上限額 生産者：250千円、森林組合：1,250千円）

3 平成28年度実績

(1) 実績額 21,499千円

(2) 実施状況



消費宣伝活動



ランチパスポート®特別企画

木をつかう活動



料理コンテストの開催



原木しいたけ生産者の育成

4 事業期間 平成27年度～平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	ふれあう人数	250人	250人	250人	150人	150人	1,050人
	木材使用量	2,300m ³	2,300m ³	2,300m ³	2,300m ³	2,300m ³	11,500m ³
	事業費	23,706千円	21,539千円	21,539千円	21,539千円	21,539千円	109,862千円
	うち森林環境税	23,706千円	21,539千円	21,539千円	21,539千円	21,539千円	109,862千円
実績	ふれあう人数	191人	205人				396人
	木材使用量	2,000m ³	1,300 m ³				3,300m ³
	事業費	23,564千円	21,499千円	千円	千円	千円	45,047千円
	うち森林環境税	23,564千円	21,499千円	千円	千円	千円	45,047千円
実施箇所	県内全域	県内全域	県内全域	県内全域	県内全域		

⑧ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業

信頼性のある県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓を支援するとともに、ニーズが高まってきている森林認証材を普及させ、県産材の需要拡大を通じ、林業経営の安定と森林整備を推進します。

1 ポイント

愛媛県産材製品市場開拓協議会が行う3大都市圏等の大消費地における販路拡大を支援するとともに、2020年の東京オリンピックに向けて、森林認証材のニーズが高まってきていることから、森林認証制度の普及啓発を図ります。

2 事業内容

(1) 販売体制整備事業【市場開拓協議会 実施事業】

- 3大都市圏等における大手商社・住宅メーカー等に対するセールス等の実施
- 県産材製品の共同出荷・販売の体制整備

(2) 愛媛県産材販売促進事業【愛媛県 実施事業】

- 首都圏の大手商社、住宅メーカー等を対象に知事トップセールスを実施するとともに、県内製材工場等と首都圏木材需要者とのマッチング商談会を県内外で開催するなど、県産材製品の販路開拓を実施します。

(3) 森林認証材流通促進事業【地区流域林業活性化センター 実施事業】

- 森林認証の取得と流通に精通したアドバイザーを活用し、関係者による検討会を開催するとともに、地域における認証材流通促進計画を作成し、計画的かつ安定的に生産・流通する体制を構築します。

3 平成28年度実績

(1) 実績額 6,797千円

(2) 実施内容

○販売体制整備事業

- ・大消費地での展示会や県産材マッチング商談会に併せて実施した営業活動に支援するなど、新たな販路拡大を行った。

○愛媛県産材販売促進事業

- ・愛媛県産材のPRのため、首都圏等大消費地で開催される展示会に出展
ナイス住まいの耐震博覧会 名古屋(H28. 6. 25~26)
ジャパンホームショー(H28. 10. 26~28)
ナイス住まいの耐震博覧会 東京(H29. 2. 3~5)

・県内外において県産材マッチング商談会を実施

愛媛県産材マッチング商談会(H28. 9. 6~7) にぎたつ会館

全国の木材業者・プレカット工場等12社17名が参加

愛媛県産材マッチング商談会 in 大阪(H28. 2. 10) 大阪府大阪市 KKR ホテル大阪

近畿地域の木材業者・プレカット工場等9社14名が参加

県外展示会(ナイス住まいの耐震博覧会名古屋、ジャパンホームショー)において、展示スペースと併せて商談スペースを設置し、商談会を実施した。

○森林認証材流通促進事業

- ・東予流域林業活性化センターにおいて、他地域における森林認証材の流通体制等について情報を収集するとともに、流域内における認証材流通促進に向けた検討会を開催し、東予地域における森林認証材流通促進方針書を作成した。

木をつかう活動

(3) 実施状況



県外マッチング商談会



ジャパンホームショーでの県産材のPR



森林認証材流通体制の情報収集



森林認証材流通促進検討会

4 事業期間 平成27年度～平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	県産材マッチング商談会の実施	3回	3回	3回	3回	3回	15回
	建材関係展示会への出展	2回	2回	2回	2回	2回	10回
	森林認証の普及啓発活動	3回	—	—	—	—	3回
	事業費	7,356千円	7,356千円	6,706千円	6,706千円	6,706千円	34,830千円
	うち森林環境税	7,356千円	7,356千円	6,706千円	6,706千円	6,706千円	34,830千円
実績	県産材マッチング商談会の実施	4回	4回				8回
	建材関係展示会への出展	2回	3回				5回
	森林認証の普及啓発活動	3回	—				3回
	木材販売量	24,607m ³	34,127m ³				58,734m ³
	事業費	5,560千円	6,797千円				12,357千円
	うち森林環境税	5,560千円	6,797千円				12,357千円

⑨ 駐在所等庁舎整備

人と環境にやさしい自然素材である木材を使用して、地域の治安環境を確保するため、老朽・狭隘化した交番を新築整備します。

1 ポイント

交番・駐在所は、地域の治安環境を確保することが必要不可欠であることから、警察事象の複雑化、多様化に対応できるよう、老朽・狭隘化が著しい施設の整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることにより地域住民に気軽に利用される施設を目指します。

2 事業内容

名称	施設名	整備概要
宇和島警察署 駅前交番	交番庁舎	(新築) 木造2階建 85.55㎡ 事務室、相談室、OA室、仮眠室ほか

3 平成28年度実績

(1) 実施額

平成29年度事業であるため未実施

(2) 実施状況

4 事業期間

平成29年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	ふれあう人数	800人		1,800人			
	事業費	37,594千円	千円	40,989千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	3,000千円	千円	3,000千円	千円	千円	千円
実績	ふれあう人数	800人					
	事業費	33,765千円	千円	千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	3,000千円	千円	千円	千円	千円	千円
実施箇所		西予警察署 俵津駐在所		宇和島警察署 駅前交番			

⑩ 県産CLT普及促進事業

本県が全国に先駆けて普及を図っているCLTについて、建築基準法の改正時期を目途に、県産CLTを使用した建築物が県内で建築されるように材料の安定供給、生産体制の整備や建築物の建設などについて検討するとともに、普及・PRを推進し、CLT利用を促進する。

1 ポイント

愛媛県CLT普及協議会と連携して、CLT建築物の普及を図るとともに、現在利用が限られている小径木のCLT材料としての活用を研究するほか、県民に対する普及啓発活動を実施します。

2 事業内容

(1) CLT建築物建設促進事業 4,550千円(事業主体 県(委託先:愛媛県CLT普及協議会))

CLTに関する建築基準法関連の告示が行われ、一般的な実施設計が可能となったことから、平成27年度に作成した汎用性のあるCLT建築物(コンビニエンスストア)の構造計画を基に実施設計書を作成し、CLTの新たな活用を提案するなど、需要開拓のための営業活動に活用します。

また、CLTを使用した建築物を普及させるためには、設計・建築などの技術の普及や関係する人材の育成が非常に重要であることから、実務者を対象としたセミナーを開催し、CLTの普及を促進します。

(2) 原材料安定供給促進事業 2,713千円(事業主体 県)

CLTの生産に欠かせないラミナの安定的な調達を可能とするため、現在、利用用途が限られている小径木(末口径10~13cm)から生産される小型ラミナを使用したCLTを作成し、せん断試験等を行いラミナの強度性能に対する影響や生産技術を明らかにします。

(3) 普及促進事業 643千円(事業主体 県)

CLT加工施設の導入や建築物の建設に向けて先進事例を調査するとともに、各種イベントにおいて、CLTの利点や活用事例などを紹介することにより、県内でのCLT利用を普及・促進します。

3 平成28年度実績

(1) 実績額 7,377千円

(2) 実施内容

○CLT建築物建設促進事業

CLTの使用事例を紹介するため、CLT建築物(コンビニエンスストア)の計画書を作成。今後のCLTの普及・PRに活用する。

○原材料安定供給促進事業

小径木(末口径10~13cm)のヒノキから生産される小幅ラミナを使用したCLTを作成し、せん断試験等を実施。

○普及促進事業

各種イベント等において、CLTの利点や活用事例などを紹介し、CLTの普及・PRを行った。

(3) 実施状況



実務者向けCLT普及啓発セミナーの実施状況

木をつかう活動



小幅ラミナを使用したヒノキCLTのせん断試験状況

4 事業期間 平成27年度～平成29年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	構造計画書の作成等	1式	1式	1式			1式
	試験の実施	1式	1式	-			1式
	事業費	5,353千円	7,906千円	9,289千円			22,548千円
	うち森林環境税	5,353千円	7,906千円	9,289千円			22,548千円
実績	構造計画書の作成等	1式	1式	1式			1式
	試験の実施	1式	1式	-			1式
	事業費	4,163千円	7,377千円				11,540千円
	うち森林環境税	4,163千円	7,377千円				11,540千円
実施箇所		県内	県内	県内			

⑪乾たけのこ生産拡大緊急対策事業

乾たけのこの計画的な生産や効率の向上による生産量の確保・増産を支援し、農林家の所得向上と健全な里山環境の保全に取り組みます。

1 ポイント

乾たけのこの産地化に向けた増産体制を構築するため、市町や森林組合、生産者等で組織する乾たけのこ生産拡大連絡協議会と連携し、生産者の育成や生産方法の普及等に取り組むとともに、供給先を確実に確保するための営業活動、市場調査を行います。

また、計画的な生産や効率の向上による生産量の確保・増産を促進するため、生産計画の作成や作業道開設、生産・加工機材の整備を支援します。

2 事業内容

(1) 乾たけのこ生産拡大普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・乾たけのこ生産拡大連絡協議会との連携 ・販売先への営業活動、市場調査
(2) 乾たけのこ生産基盤整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ○生産計画の作成 竹林の幹旋及び生産計画作成への支援 ○基盤整備 作業道開設への支援 ○生産・加工機材 湯がき機材の整備への支援

3 平成 28 年度実績

(1) 実績額 6,291 千円

(2) 実施状況



乾たけのこ基盤整備状況

4 事業期間

平成 27 年度 ～ 平成 28 年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	計
計画	乾たけのこ生産面積 (延べ)	100ha	200ha	300ha
	事業費	5,744 千円	7,650 千円	13,394 千円
	うち森林環境税	5,744 千円	7,650 千円	13,394 千円
実績	乾たけのこ生産面積	184ha	250ha	250ha
	事業費	4,380 千円	6,291 千円	10,671 千円
	うち森林環境税	4,380 千円	6,291 千円	10,671 千円
実施箇所		県内全域	県内全域	

① 県民と森との交流促進事業

森林ボランティア活動をはじめとする県民の森林を利活用する活動の支援や、「えひめ山の日の集い」などによる森林との交流を進めます。

1 ポイント

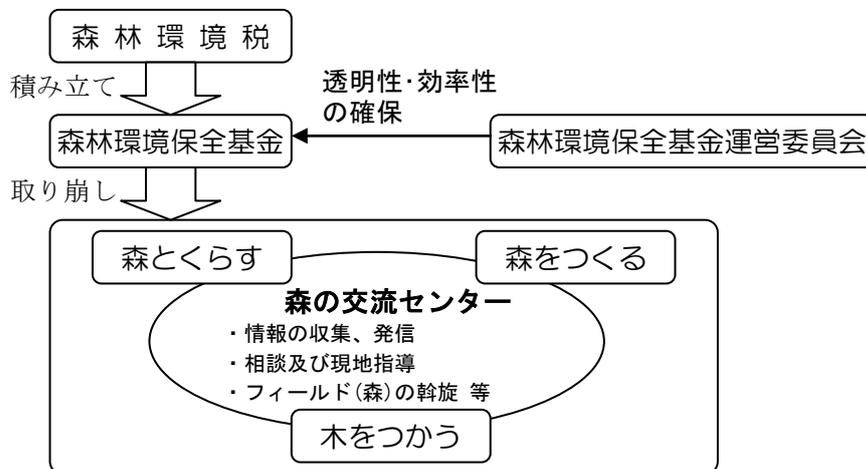
森林の利活用促進を図るため、愛媛県森の交流センターを拠点として、森林の利活用に役立つ様々な情報提供をはじめ、個別の相談や現地での指導といった支援を積極的に行い、県民の森林を利活用する活動への参加に向け関心を喚起します。

また、平成 16 年 11 月に制定した「えひめ山の日」を普及するため、「えひめ山の日の集い」を開催します。

加えて、森林環境税を財源とした事業について、適切な実施と透明性の確保を図るため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催し、事業の調査・審議を行います。

また、森林環境税の見直しに向けた県民意見交換会を各地方局単位で開催するとともに、アンケート調査を実施します。

2 事業イメージ



3 平成28年度実績

(1) 実績額 11,681 千円

(2) 事業内容

(1) 県民と森との交流促進	愛媛県森の交流センターの運営 ・森林の利活用に関する情報の収集と発信 ・森林ボランティア活動等に関する相談及び現地指導 ・森林利活用活動のためのフィールド(森)の斡旋 等
(2) 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営	【委員会の概要】 森林環境税を財源とした事業について、調査・審議を行うため、委員 10 名からなる愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催。
(3) 森林環境税啓発事業	森林環境税の制度内容及び実施事業について、広く県民に普及啓発するため、新聞への広告掲載や普及啓発冊子等を作成し配布。
(4) 「えひめ山の日の集い」開催事業	「えひめ山の日」を普及するシンボル事業として、エミフル MASAKI にて「森へゆこうよ」をテーマに「えひめ山の日の集い」を開催。

森とくらす活動

(3) 実施状況

① 愛媛県森の交流センターの運営（東温市田窪、平成17年度設置）

愛媛県森の交流センターは、森林環境税の導入目的である「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を実現するため、森づくりを行う市民グループ等の人的交流や情報の発信を行うとともに、森林・林業等に関わる情報の提供、あるいは森林所有者等による森づくりを行う拠点として設置した施設であり、以下の業務を行いました。

[業務内容]

- (ア) 森林ボランティア、NPO、森づくりを行う市民グループ等の活動を支援するため、指導者又は指導機関の斡旋、紹介や技術指導を行いました。
- (イ) 森林・林業・木材業にかかる情報について、正しい情報と的確な技術の提供・伝達や県等が行うイベントや研修、学習会等の普及広報を行いました。
- (ウ) 県民参加の森林づくりを推進するため、森林所有者から活動フィールドの提供を受けて、活動を希望する団体にフィールドの斡旋を行いました。
- (エ) その他、森林環境税を活用した事業の実施や、県下で活動される団体の組織、活動内容等を情報として発信するなど、団体相互の交流を支援しました。

② 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営

任 期：平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年間）

内 容：事業の透明性・公平性を確保するため、県指定事業及び公募事業の調査・審議を実施。

開催状況：

委員会開催(H28. 6. 16)	<ul style="list-style-type: none"> ・H27 森林環境保全基金事業の実績について ・H28 森林環境保全基金県指定事業について
委員会開催(H29. 3. 22)	<ul style="list-style-type: none"> ・H28 森林環境保全基金事業の実施状況について ・H29 森林環境保全基金県指定事業について ・H29 森林環境保全基金公募事業の審査について

③ 森林環境税啓発事業

新聞広告等掲載事業

森林環境税の用途を広く県民にPRするため、森林環境税活用事業の取り組み状況について新聞広告を2回掲載するとともに、普及啓発用冊子を作成しました。

④ 「えひめ山の日の集い」関連行事の開催

開催日：平成28年8月11日（木）、平成28年11月12日（土）

ア 森林散策（平成28年8月11日）

滑床溪谷にて、森の案内人会、滑床を愛する会を講師に迎え散策を楽しみました。

イ 式典（平成28年11月12日）

県内から448名の参加を得て、表彰や記念行事を盛大に開催しました。

場所：エミフル MASAKI

時間	次第	内容・出演者等
10:00	式典	
	表彰	CO2吸収証書、森の名手・名人認定、緑野募金感謝状
11:00	記念行事	
		<ul style="list-style-type: none"> ○高縄山PR（えひめ森の案内人会） ○山のファッションショー（愛の葉Girls、エミフルズ） ○みんなで学ぼう森林環境税（森林整備課） ○ダンスLIVE（フジカルチャースクール） ○愛媛の森林基金PR（森林整備課） ○トレイルラン・南予の山の魅力（忠政ひろふみ） ○滑床を愛する会（藤井勝会長） ○中沢けんじミニライブ（中沢けんじ） ○山の写真、いやし博CM上映
15:00	閉会	

森とくらす活動

ウ 式典併催行事

エミフル MASAKI で開催された式典と並行して木のおもちゃ広場を開催しました。

自然散策



式典



木のおもちゃ広場



4 事業期間 平成27年度～平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	森の交流センター 相談件数	2,000 件	10,000 件				
	「えひめ山の日の 集い」参加者数	500 人	2,500 人				
	事業費	13,040 千円	13,360 千円	13,360 千円	13,360 千円	13,360 千円	66,480 千円
	うち森林環境税	13,040 千円	13,360 千円	13,360 千円	13,360 千円	13,360 千円	66,480 千円
実績	森の交流センター 相談件数	1,555件	1,512 件	件	件	件	件
	「えひめ山の日の 集い」参加者数	671人	2,150人	人	人	人	人
	事業費	11,845千円	11,681千円	千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	11,845千円	11,681千円	千円	千円	千円	千円

②自然観察会開催事業

次代を担う青少年を対象に、自然環境保全、野生動植物保護思想の醸成を図るため、自然保護活動体験、野外教育及び環境教育を行う自然観察会を開催します。

1 ポイント

森林と共生する文化の創造を県民一体となって推進するため、次代を担う青少年を対象に自然保護活動体験や野外教育、環境教育を行い、森林が野生鳥獣に生活の場を提供していることなど、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図ります。

2 事業内容

- 対象 県内在住の小・中学生及びその保護者等
- 事業主体 愛媛県（自然保護課）
- 事業内容 森林機能や保全取組等の学習会、植樹体験、野鳥などの生き物観察 など
- 実施方法 県（生物多様性センター）が実施

3 平成 28 年度実績見込み額 1, 4 2 5 千円（全体事業費 1, 4 2 5 千円）

番号	観察会概要	実施日	事業場所	参加人数
1	・トキワバイカツツジ自生地での開花状況観察 ・御槇付近で植物と昆虫の観察	平成 28 年 4 月 24 日	宇和島市津島町	12
2	・里山のくらし・生き物とのつながり	平成 28 年 8 月 10 日	西条市	21
3	・里山の生き物観察	平成 28 年 8 月 25 日	西条市	21
4	・夜の雑木林と田んぼの生き物観察	平成 28 年 7 月 2 日	愛南町	23
5	・里山のくらし・生き物とのつながり	平成 28 年 7 月 2 日	今治市大三島町	33
6	・戸島の昆虫観察	平成 28 年 7 月 14 日	宇和島市戸島	25
7	・里山のくらし・生き物とのつながり	平成 28 年 7 月 30 日	今治市大三島町	28
8	・ライトトラップを使った昆虫観察	平成 28 年 8 月 5 日	松山市 城山公園	43
9	・南予の干潟の生きもの観察	平成 28 年 8 月 20 日	愛南町御荘湾、県立 南宇和高等学校	28
10	・里の生き物観察(稲刈後の水田)	平成 28 年 8 月 27 日	愛南町	25
11	・八幡浜の魚類・内子の鳥類観察会	平成 28 年 12 月 18 日	八幡浜市 内子町	27
12	・春の生きもの観察会	平成 29 年 3 月 11 日	松山市	36
	参加人数 計	開催回数 12 回		322

森とくらす活動



4 事業期間 平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	参加人数	405人	405人	405人	405人	405人	2,025人
	事業費	1,729千円	1,729千円	1,729千円	1,729千円	1,729千円	8,645千円
	うち森林環境税	1,729千円	1,729千円	1,729千円	1,729千円	1,729千円	8,645千円
実績	参加人数	491人	322人				
	事業費	830千円	1,425千円	千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	830千円	1,425千円	千円	千円	千円	千円
実施箇所	松山市（県衛生環境研究所）、今治市（大三島町）、宇和島市（蔭地区）、愛南町（一本松地区他）	松山市（城山公園）、今治市（大三島町）、宇和島市（津島町）、愛南町（御荘湾他）					

③ 森とのふれあい活動促進事業

森林づくりを行う青少年や県民の皆様の活動を支援し、森とのふれあい活動を促進します。また、手軽に森林ボランティアなどの活動に参加できるように、フィールドとなる森を整備し、活用場として提供します。

1 ポイント

森林を県民共有の財産として守り育て、次の世代に健全な姿で引き継いでいくために、各世代における森林づくり活動をサポートし、継続的な森林環境保全意識の醸成を行います。

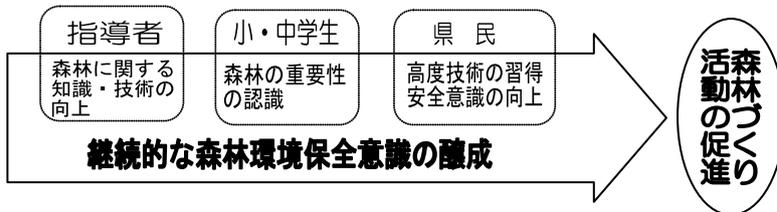
まず、小・中学生の指導にあたる教・職員に対し、森林に関する知識及び体験活動等の技術の向上を図る研修を実施するとともに、学校等の要望に応じ林業教室を実施するほか、技術的支援を実施します。

また、すでに森林保全意識をもって森林づくり活動を実施している県民には、より一層の技術や安全意識の向上を図るため、安全技術研修及び交流研修会を実施します。

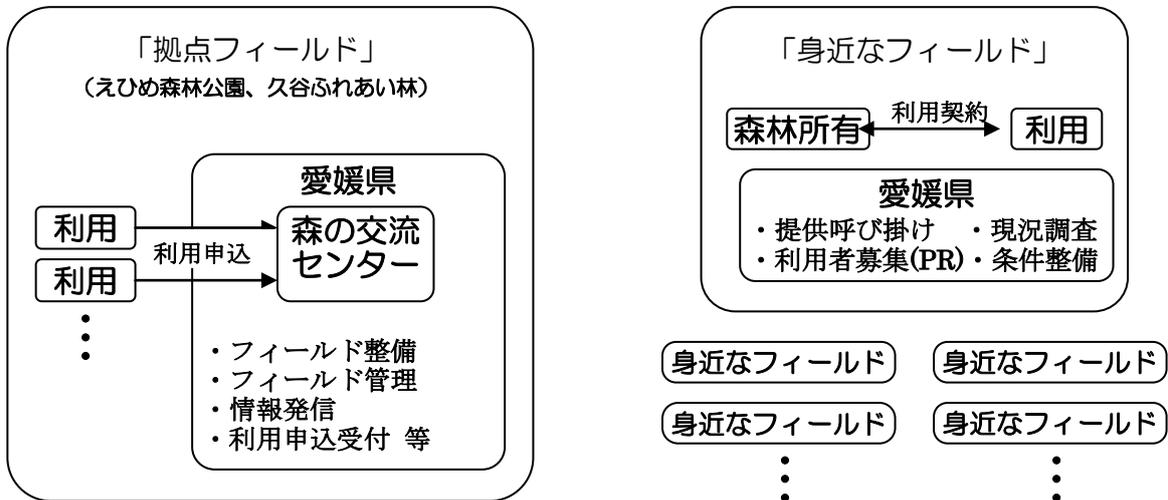
加えて、県民が手軽に、また身近に活用できる森林を整備し提供することで、森林ボランティア活動などによる山の手入れを可能にするとともに、こうした活動を通じて、県民の森林の大切さに対する意識高揚を図っています。

2 事業内容

(1) 事業イメージ[活動支援]



(2) 事業イメージ[フィールド設置・提供]



森とくらす活動

3 平成28年度実績

(1) 実績額 13,837千円

(2) 事業内容

①森林づくり県民活動進事業	一般県民の育成：・森林づくり活動や森とふれあう活動を行うグループの技術交流研修会の実施
②森林愛護活動推進事業	小・中学校等の教・職員を対象に、森林・林業や自然体験学習に関する研修を実施。各地域で森林・林業教室の開催及びその技術的支援を実施。
③県民参加の森林づくり事業	森林所有者へフィールドの提供を呼びかけ、候補地についての現況調査や提供可能なフィールドの情報を発信するとともに、森林づくり活動を側面から支援するために、作業道の開設や林内整備を実施。 また、森林ボランティア団体等が安全で手軽にボランティアを実施できるよう、森林ボランティア活動機械等を整備。
④企業の森づくり促進支援事業	企業によるCSR活動としての森林づくり活動を支援するために、フィールド設定のための現地調査を実施。

(3) 実施状況

① 森林づくり県民活動推進事業(一般県民の育成)

○森づくり技術交流会

えひめ森林ボランティア連絡協議会等、県内で森林ボランティア活動を行っている団体・個人等49名が、東温市の森の交流センターにおいて技術交流会に参加し、技術の向上を図りました。



刈り払い機の研修

日程	内容
平成29年 2月11日(土) ～2月12日(日)	(講義) 刈り払い機の安全な使い方、これからの森林ボランティアほか (技術講習) 刈り払い機のメンテナンス、整備、チップターの研ぎ方、救命と救急法ほか

②森林愛護活動推進事業

ア 青少年指導者育成事業

小・中学生の森林環境教育の指導にあたる教・職員を対象に研修を行い、座学と実技を通じて指導方法の習得を図りました。



今治自然塾環境教育プログラム

日程	会場	参加人数	内容
平成28年 8月5日(金)	国立大洲青少年交流の家	15人	[座学]愛媛の森林・林業について、野外活動での安全について、森林の役割と地球温暖化について、
8月1日(月)	今治西部丘陵公園	32人	[実習]活動体験 南予会場：樹木を活用した自然観察会(さんきら自然塾) 今治会場：今治自然塾環境教育プログラム(今治自然塾)
	計	47人	

イ 少年自然愛護活動事業

県内各地において、小・中学校やその他団体等の要望に応じて、林業教室等を実施するほか、その技術的な支援をおこなった。

森とくらす活動

③県民参加の森林づくり事業

ア 県民参加の「身近なフィールド」提供事業

○拠点フィールド及び身近なフィールド

番号	登録年度	名称	所有者	所在地	面積 (ha)	樹種	「企業の森づくりの」名称
1	17	横谷山	市	松山市	0.60	ケヤキ、伐採跡地	
2	17	豊岡山	町	松野町	1.51	広葉樹 (一部クスギ)	
3	17	横吹森林公園	団体	鬼北町	3.12	スギ、ヒノキ、マツ	
4	17	加茂川水源の森1	個人	西条市	0.49	スギ、ヒノキ (クスギ、ケヤキ)	
5	17	加茂川水源の森2	個人	西条市	2.60	スギ、ヒノキ (ケヤキ、ヤマザクラ)	
6	17	若山	市	八幡浜市	21.42	スギ、ヒノキ、その他広葉樹	
7	17	田処山	個人	大洲市	0.97	ヒノキ	
8	17	三滝溪谷林	市	西予市	0.16	ヒノキ	
9	17	ふくさの森	個人	東温市	1.87	スギ、ヒノキ、クケ、サカキ	
10	17	黒谷2号	県	西条市	5.63	ヒノキ、クスギ、マツ	伊予銀行エバーグリーン [®] の森
11	17	久谷ふれあい林	県	松山市	12.77	スギ、ヒノキ	(拠点フィールド) アサヒビル感謝の森
12	17	横谷	県	松山市	38.16	スギ、ヒノキ	愛媛銀行eCh ^o の森
13	17	松瀬川2号	県	東温市	77.86	スギ、ヒノキ	愛媛トヨタの森 伊予銀行エバーグリーン [®] の森
14	17	御槇1号	県	宇和島市	463.74	スギ、ヒノキ	
15	17	御槇2号	県	宇和島市	0.80	ヒノキ	
16	17	県民参加の森	国(県)	伊予市他	52.83	スギ、ヒノキ、広葉樹	(拠点フィールド)
17	17	塩ヶ森ふるさと公園	市	東温市	1.23	モミジ、サクラ、ヒノキ	
18	17	黒岩山公園	市	宇和島市	1.05	ケヤキ等広葉樹	
19	17	深山	財産区	西予市	1.74	ヤマザクラ等広葉樹	
20	17	千疋山	市	今治市	0.98	モミジ等広葉樹	
21	18	龍王山	市	西条市	3.30	ヒノキ、ザツ	
22	18	小松山	市	西条市	2.40	ヒノキ、クスギ	
23	18	湯谷口山1	個人	西条市	0.17	竹	
24	18	湯谷口山2	個人	西条市	0.16	竹	
25	18	藤野山	個人	松山市	0.51	竹 (砂坊チ)	
26	18	旧林業試験場山	県	東温市	2.58	スギ、ヒノキ、マツ	
27	19	奈良原山	団体	今治市	24.83	広葉樹	
28	19	長岡山公園	県	内子町	5.14	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	
29	19	宅並山	団体	松山市	1.07	広葉樹	
30	19	今治共有山	市	今治市	177.08	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	今治市 太陽が育む森
31	19	宮内財産区	市	八幡浜市	113.47	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	
32	19	西条市有林	市	西条市	49.78	スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹	
33	20	森の交流センター	県	東温市	5.20	広葉樹、針葉樹	
34	20	大洲市有林	市	大洲市	12.04	広葉樹、針葉樹	伊予銀行エバーグリーン [®] の森
35	20	今治市玉川町鈍川	市	今治市	244.88	広葉樹、針葉樹	コブ [®] えひめ未来の森
36	21	下川町	市	四国中央市	1.35	広葉樹(雑・草地)	
37	21	寒川山	個人	四国中央市	2.33	スギ、ヒノキ	
38	21	川滝町	個人	四国中央市	0.68	マダケ	
39	21	別子山	市	新居浜市	6.60	スギ、ヒノキ	
40	21	船木	団体	新居浜市	1.39	ヒノキ	
41	21	鈍川神子森奥	市	今治市	7.64	スギ、ヒノキ、その他広葉樹	
42	21	法界寺	団体	今治市	1.35	クスギ他	
43	21	久万1	町	久万高原町	0.38	サクラ	
44	21	久万2	町	久万高原町	4.46	イチヨウ他4種	
45	21	菅生1	町	久万高原町	0.63	ヤマザクラ他広葉樹	
46	21	菅生2	町	久万高原町	2.37	広葉樹	
47	21	東明神	町	久万高原町	1.02	スギ、トチ、ヤマザクラ、ケヤキ	
48	21	下畑野川	町	久万高原町	1.02	サクラ、モミジ	水と空気の愛の森
49	21	直瀬1	町	久万高原町	0.32	クスギ、コナラ、ケヤキ	
50	21	直瀬2	町	久万高原町	2.56	クスギ	
51	21	直瀬3	町	久万高原町	0.40	ヤマザクラ、イロハモミジ	水と空気の愛の森
52	21	中津	町	久万高原町	5.12	サクラ他広葉樹	
53	21	緑	町	愛南町	2.46	スギ、ヒノキ	
54	21	僧都1	町	愛南町	10.57	ヒノキ	
55	21	僧都2	町	愛南町	18.00	ヒノキ	
56	21	南川	市	西条市	44.87	ヒノキ、松、雑	
57	21	上灘	県	伊予市	21.21	スギ、ヒノキ、雑	
58	21	北只	市	大洲市	1.15	スギ、ヒノキ	
59	21	椎ノ森	市	大洲市	5.26	ヒノキ、竹、桜、雑	
60	21	中川	町	内子町	56.55	スギ、ヒノキ	
61	21	食場町	市	松山市	1.50	スギ、ヒノキ	
62	21	東温河之内	市	東温市	0.60	スギ	
63	21	砥部川登	町	砥部町	7.00	クスギ、ケヤキ等広葉樹10種	
64	21	青波町	個人	松山市	1.10	ヒノキ、クスギ他	
65	21	福見川町	個人	松山市	2.76	スギ、ヒノキ	
66	21	米野町	個人	松山市	2.00	スギ、ヒノキ	
67	22	菅生・久万	会社	久万高原町	2.31	ヒノキ、スギ、クスギ・ザツ	
68	22	直瀬(加藤)	個人	久万高原町	1.33	雑木・松・桜・ヒノキ・竹	
69	22	中島(南)	個人	松山市	0.41	その他広葉樹	
70	24	玉川	個人	今治市	33.55	スギ、ヒノキ、雑	
					1,584.39		

森とくらす活動

イ 森林ボランティア活動機械等の整備

整備器具	数量	整備場所
鎌、ヘルメット、チェーンソー等	1式	東予地方局、今治支局、南予地方局、八幡浜支局

④企業の森づくり促進支援事業

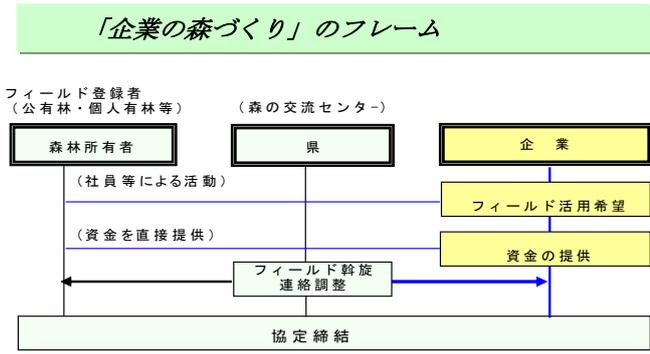
※「企業の森づくり」森林づくり活動協定の実績

番号	企業名及び協定名	森林所有者・場所	協定締結者	協定期間
1	太陽石油（株） 「今治市 太陽が育む森」 1期（協定締結日 平成19年8月22日） 2期（協定締結日 平成22年3月25日） 3期（協定締結日 平成25年3月28日）	今治市市有林 41.80ha	3者（タイプA） 太陽石油、 市、 県（斡旋）	3年間 1期 19年8月22日 ～22年3月31日 2期 22年4月1日 ～25年3月31日 5年間 3期 25年4月1日 ～30年3月31日
2	アサヒビール(株) 1期「アサヒビール生命の森」 （協定締結日 平成20年3月10日） 2期「アサヒビール感謝の森」 （協定締結日 平成23年5月25日） 3期「アサヒビール感謝の森」 （協定締結日 平成26年3月27日）	1期 西条市市有林 49.78ha 2期 愛媛県 久谷ふれあい林 12.67ha 3期 西条市市有林 42.34ha	1期4者（タイプB） アサヒビール、 愛媛の森林基金、 市、 県（斡旋） 2期3者（タイプA） アサヒビール、 愛媛の森林基金、 県 3期4者（タイプB） アサヒビール、 愛媛の森林基金、 市、 県（斡旋）	3年間 1期 20年3月10日 ～23年3月31日 2期 23年5月25日 ～26年3月31日 3期 26年4月1日 ～29年3月31日
3	(株)愛媛銀行 「愛媛銀行ecHoの森」 1期（協定締結日 平成20年3月10日） 2期（協定締結日 平成25年3月28日）	愛媛県県有林横谷事業所 38.16ha	3者（タイプB） 愛媛銀行、 愛媛の森林基金、 県（森林所有者）	5年間 1期 20年4月1日 ～25年3月31日 2期 25年4月1日 ～30年3月31日
4	愛媛トヨペット(株) 「愛媛トヨペットの森」 1期（協定締結日 平成20年3月10日） 2期（協定締結日 平成23年5月25日） 3期（協定締結日 平成26年3月27日）	愛媛県県有林松瀬川事業所 5.63ha	3者（タイプB） 愛媛トヨペット、 愛媛の森林基金、 県（森林所有者）	3年間 1期 20年4月1日 ～23年3月31日 2期 23年5月25日 ～26年3月31日 3期 26年4月1日 ～29年3月31日
5	(株)伊予銀行 「伊予銀行エバークリーンの森」 1期（協定締結日 平成20年10月31日） 2期（協定締結日 平成25年3月28日）	1期 愛媛県県有林松瀬川事業所 7.63ha 大洲市市有林 7.62ha 2期 愛媛県県有林黒谷、院内、 松瀬川事業所 25.46ha 大洲市市有林 7.62ha	4者（タイプB） 伊予銀行、 愛媛の森林基金、 市、 県（森林所有者）	5年間 1期 20年10月31日 ～25年3月31日 2期 25年4月1日 ～30年3月31日
6	生活協同組合コープえひめ 「コープえひめ未来の森」 1期（協定締結日 平成21年3月25日） 2期（協定締結日 平成24年3月26日） 3期（協定締結日 平成27年3月30日）	今治市市有林 40.96ha	3者（タイプA） 生活協同組合コープえひめ、 市、 県（斡旋）	3年間 1期 21年3月25日 ～24年3月31日 2期 24年4月1日 ～27年3月31日 3期 27年4月1日 ～30年3月31日
7	(社)愛媛県空調衛生設備業協会 「水と空気の愛の森」 1期（協定締結日 平成23年10月18日） 2期（協定締結日 平成28年 3月 ）	久万高原町 町有林 1.42ha	3者（タイプA） (社)愛媛県空調衛生設備業協会 町、 県（斡旋）	5年間 1期 23年10月18日 ～28年3月31日 2期 28年4月1日 ～32年3月31日
8	楽天株式会社 (協定名)「楽天の森」 (協定締結日 平成27年7月21日)	愛媛県県有林 久谷事業所 5.05ha	3者(タイプB) 楽天株式会社 愛媛の森林基金 県(森林所有者)	3年間 27年7月21日 ～30年3月31日

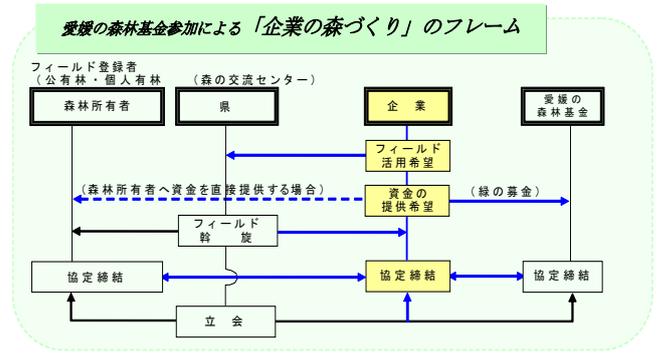
森とくらす活動

※「企業の森づくり」のフレーム

Aタイプ



Bタイプ



「愛媛銀行ecHoの森」



「伊予銀行エバーグリーンの森」

下刈り作業

4 事業期間 平成27年度～平成31年度

5 全体計画

全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計	
計画	研修等参加人数(人)	100人	100人	100人	100人	100人	500人	
	ボランティア人数	拠点フィールド*	200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
		身近なフィールド*	800人	800人	800人	800人	800人	4,000人
	身近なフィールド*設置箇所数	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	25箇所	
	事業費(千円)	13,226	17,571	17,571	17,571	17,571	83,510	
うち森林環境税	13,226	17,571	17,571	17,571	17,571	83,510		
実績	研修等参加人数(人)	1,068人	956人					
	ボランティア人数	拠点フィールド*	—	—				
		身近なフィールド*	393人	185人				
	身近なフィールド*設置箇所数	0箇所	0箇所					
	事業費(千円)	12,081	13,837					
うち森林環境税	12,081	13,837						

森とくらす活動

4 事業期間

平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計 画	県民参加人数	400人	400人	400人	400人	400人	2,000人
	事業費	10,025千円	10,898千円	10,898千円	10,898千円	10,898千円	53,161千円
	うち森林環境税	3,583千円	4,000千円	4,000千円	4,000千円	4,000千円	19,583千円
実 績	県民参加人数	400人	400人	人	人	人	人
	事業費	9,341千円	9,853千円	千円	千円	千円	9,263千円
	うち森林環境税	3,129千円	3,119千円	千円	千円	千円	3,051千円
実施箇所		県下一円	県下一円	県下一円	県下一円	県下一円	

⑤ 「森林わくわく体験」 推進事業

幼稚園や小中学校において、森林をテーマにした体験活動を教育課程に位置付け、子どもたちに豊かな感性と、生命や森林を愛し大切にしていこうとする態度を育む教育を推進します。

1 ポイント

森林は、森林所有者の財産であるだけでなく、様々な公益的機能を有しています。森林の保全や整備については、世代を超える年月と多くの労力を要することなどについて、多くの県民の理解を深めていくことが求められています。そのためには、幼児期から子どもの発達の段階に応じた森林に親しむ学習を進めていくことが有意義です。

そこで、森林における様々な体験を取り入れた教育活動を展開する幼稚園2園・小中学校3校を指定し、森林に対する理解を深め、生命や森林を大切にしていこうとする態度の育成を図るとともに、その成果の普及に努めることで、森林環境保全意識をもった人作りに貢献します。

2 事業内容

「森はともだち」 推進事業	「森のようちえん」 推進事業
○補助金交付先 市町 (平成27・28年度指定公立小中学校2校) (平成28・29年度指定公立小学校1校) ○補助金額 300千円×3校=900千円(補助10/10) ○実施主体 市町 ○補助対象事業 「森はともだち」 推進事業 ・目的 森林環境を大切にする児童生徒を育てる。 ・事業実施校の設置 (平成27・28年度指定) 公立小中学校2校 (平成28・29年度指定) 公立小学校1校 ・活動例 身近な森林や河川、海岸の調査 森林の植樹、枝打ち、清掃、巣箱設置等の森林保護活動 県産木材や竹材を利用したクラフトや炭作り 木材市場・加工場の見学	○補助金交付先 市町 (平成27・28年度指定公立幼稚園1園) (平成28・29年度指定公立幼稚園1園) ○補助金額 300千円×2園=600千円(補助10/10) ○実施主体 市町 ○補助対象事業 「森のようちえん」 推進事業 ・目的 森が大好きな幼児を育てる。 ・事業実施園の設置 (平成27・28年度指定) 公立幼稚園1園 (平成28・29年度指定) 公立幼稚園1園 ・活動例 森林を生かした遊びの展開 (探検、木登り、ロープブランコ、基地作り、ネイチャーゲーム、森の自然物を使った製作など) 森の中の生き物との触れ合い

3 平成28年度実績

(1) 実績額 1,732千円(うち、森林環境税1,732千円)

(2) 実施状況

指定年度	事業実施校	テーマ	実施内容	参加人数	事業費
H27・28	新居浜市立大生院中学校	大生院の森を守り育てる生徒の育成 ー将来にわたって環境を受け継ぐESDの教育ー	・間伐体験 ・水生昆虫観察 ・竹釜炊飯	186人	300千円
H27・28	伊方町立伊方小学校	ふるさとの自然を大切にしようとする児童の育成 ～森や自然と親しみ、学ぶ活動を通して～	・巣箱の設置 ・炭焼き体験 ・木工品製作	244人	300千円
H28・29	松山市立栗井小学校	自然に親しみ、自然のよさに気づき、自然を大切にしようとする児童の育成 ～地域の自然や人々に関わる体験活動、振り返りにおける交流を通して～	・校区の山登り ・川の生き物調査 ・植樹体験	409人	300千円
H27・28	砥部町立宮内幼稚園	豊かな感性を持ち、主体的に活動する幼児の育成 ～森林や身近な自然で遊ぶ体験を通して～	・森林を生かした遊び ・自然物を使った製作 ・タケノコ掘り	164人	300千円
H28・29	西予市立野村幼稚園	豊かな自然に触れ感性を育むとともに、心豊かでたくましい幼児の育成 ～地域の森林に親しむ活動体験を通して～	・ブナ林探訪 ・木工遊び ・椎茸植菌体験	303人	300千円
計				1,306人	1,500千円

※232千円は、事務局(義務教育課)が実施する協議会等の経費